

令和7年12月18日

SB C&S株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令について

消費者庁は、本日、SB C&S株式会社に対し、同社が供給するスマートフォン向けのコーティング剤及びタブレット端末向けのコーティング剤に係る表示について、景品表示法に違反する行為（同法第5条第1号（優良誤認）に該当）が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令（別添参照）を行いました。

1 違反行為者の概要

名 称 SB C&S株式会社（以下「SB C&S」という。）

（法人番号 9010403011485）

所 在 地 東京都港区海岸一丁目7番1号

代 表 者 代表取締役 草川 和哉

設立年月 平成26年3月

資 本 金 5億円（令和7年12月現在）

2 措置命令の概要

(1) 対象商品

ア 「INVOL ULTRA コーティング for スマートフォン」と称するスマートフォン向けのコーティング剤（以下「本件商品①」という。）

イ 「INVOL ULTRA コーティング for タブレット」と称するタブレット端末向けのコーティング剤（以下「本件商品②」といい、本件商品①と併せて、「本件2商品①」という。）

ウ 「INVOL Extra Fine コーティング for スマートフォン」と称するスマートフォン向けのコーティング剤（以下「本件商品③」という。）

エ 「INVOL Extra Fine コーティング for タブレット」と称するタブレット端末向けのコーティング剤（以下「本件商品④」といい、本件商品③と併せて、「本件2商品②」という。また、本件2商品①及び本件2商品②を併せて「本件4商品」という。）

## (2) 対象表示

### ア 表示の概要

#### (7) 表示期間

別表 1 及び別表 2 「表示期間」欄記載の期間

#### (イ) 表示媒体

別表 1 及び別表 2 「表示媒体」欄記載の表示媒体

#### (ウ) 表示内容（表示例：別紙 1 及び別紙 2）

- a SB C&Sは、本件 2 商品①を一般消費者に販売するに当たり、例えば、本件商品①について、令和 6 年 9 月 20 日から同年 10 月 23 日までの間、本件商品①の商品パッケージにおいて、「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」、「抗ウイルス・抗菌」等と表示するなど、別表 1 「対象商品」欄記載の商品について、同表「表示期間」欄記載の期間に、同表「表示媒体」欄記載の表示媒体において、同表「表示内容」欄記載のとおり表示することにより、あたかも、本件 2 商品①をスマートフォン又はタブレット端末の画面等に塗布することで、傷の発生を防止する効果、細菌の増殖を抑制する効果及び特定のウイルスの数を減少させる効果が得られるかのように示す表示をしていた。
- b SB C&Sは、本件 2 商品②を一般消費者に販売するに当たり、例えば、本件商品③について、令和 6 年 10 月 25 日から令和 7 年 8 月 21 日までの間、本件商品③の商品パッケージにおいて、「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」等と表示するなど、別表 2 「対象商品」欄記載の商品について、同表「表示期間」欄記載の期間に、同表「表示媒体」欄記載の表示媒体において、同表「表示内容」欄記載のとおり表示することにより、あたかも、本件 2 商品②をスマートフォン又はタブレット端末の画面等に塗布することで、傷の発生を防止する効果が得られるかのように示す表示をしていた。

### イ 実際

前記アの表示について、消費者庁は、景品表示法第 7 条第 2 項の規定に基づき、SB C&Sに対し、それぞれ期間を定めて、当該表示の裏付けとなる合理的な根拠を示す資料の提出を求めたところ、SB C&Sから資料が提出された。しかし、当該資料はいずれも、当該表示の裏付けとなる合理的な根拠を示すものであるとは認められないものであった。

## (3) 命令の概要

ア 前記(2)アの表示は、本件 4 商品の内容について、一般消費者に対し、実

際のものよりも著しく優良であると示すものであり、景品表示法に違反するものである旨を一般消費者に周知徹底すること。

イ 再発防止策を講じて、これを役員及び従業員に周知徹底すること。

ウ 今後、表示の裏付けとなる合理的な根拠をあらかじめ有することなく、前記(2)アの表示と同様の表示を行わないこと。

**【問合せ先】**

消費者庁表示対策課

電 話：０３（３５０７）９２３９

ＵＲＬ：<https://www.caa.go.jp/>

別表 1

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
本件商品 ①	令和 6 年 9 月 2 0 日から同年 1 0 月 2 3 日までの間	商品パッケージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強いガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</li> <li>・ S I A A マークを示す画像</li> <li>・「■防キズ コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護できます。」</li> <li>・「コーティングなし 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> <li>・「コーティングあり 端末ガラスのみの状態より傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件商品①が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像</li> <li>・「■抗ウイルス・抗菌 抗ウイルス加工：製品上の特定のウイルスの数を減少（抗ウイルス活性値 2 以上） 抗菌加工：加工されていない製品の表面と比較し、細菌の増殖割合が 1 0 0 分の 1 以下（抗菌活性値 2 以上）」</li> </ul>
本件商品 ②	令和 6 年 9 月 2 0 日から同年 1 0 月 2 3 日までの間	商品パッケージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強いガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</li> <li>・ S I A A マークを示す画像</li> <li>・「■防キズ コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を</li> </ul>

対象商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<p>上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護できます。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コーティングなし 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」を端末ガラスに加えた際には端末ガラスが傷つくことを示す画像</li> <li>・「コーティングあり 端末ガラスのみの状態より傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」を本件商品②が塗布されている端末ガラスに加えた際には端末ガラスの表面が傷つきにくいことを示す画像</li> <li>・「■抗ウイルス・抗菌 抗ウイルス加工：製品上の特定のウイルスの数を減少（抗ウイルス活性値2以上） 抗菌加工：加工されていない製品の表面と比較し、細菌の増殖割合が100分の1以下（抗菌活性値2以上）」</li> </ul>
本件2商品①	令和6年8月13日から同年10月23日までの間	「INVOL ULTRA コーティング」と記載のある自社ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「化学結合で強固に密着するガラス被膜で、キズから対象製品を保護」、「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</li> <li>・「INVOL ULTRA コーティングとは?」、「ULTRA コーティングは化学結合で強固に密着するガラス被膜を形成し、毎日使用するスマートフォンやケース・フィルム※<sup>1</sup>などのアクセサリをキズや擦れからしっかり保護します。」及び「防キズ効果だけではなく、抗ウイルス・抗菌効果を発揮し、防汚・防指紋にも優れたコーティング剤です。」</li> <li>・「防キズ Anti scratch」、「擦ったり、引っ掻いたりなどのキズからスマートフォンをしっかりと守ります。」及び「ULTRA コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、対象製品の表面をキズや擦れからしっかり保護します。」</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コーティングなし 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> <li>・「コーティングあり ULTRA コーティングは端末ガラスより硬いため、傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件２商品①が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像</li> <li>・「検証結果 inspection result」及び「ナノインデンテーション※試験を行い、ULTRA コーティング塗布前後の表面硬度を測定することとで、耐傷性の効果を比較検証しました。 表面硬度が上昇するほど、外部からの摩擦に対してより耐性があり傷つきにくいといえます。」</li> <li>・「ナノインデンテーション試験による表面硬度測定結果 ・２０１９年発売の一般的なスマートフォンにULTRA コーティングを施工前後の表面硬度の測定をナノインデンテーション試験で実施 ・２０２２年８月実施」</li> <li>・表面コーートを施した端末ガラス及び表面コーートを施した上に本件２商品①を塗布した端末ガラスを比較して、表面硬度が約９倍上昇していること並びに表面コーートを施した上に本件２商品①を塗布した端末ガラス及び表面コーートなしの端末ガラスを比較して、「一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材の表面硬度より硬い」ことを示したグラフ</li> <li>・「ナノインデンテーション試験による表面硬度の測定の結果、施工前に比べ表面硬度が上昇していることを確認できました。（グラフ①②） さらに、一般的なス</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<p>スマートフォンに採用されている画面ガラス素材よりも硬度が高く、耐傷性に優れていることが実証されました。(グラフ③)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「試験実施日：2023年5月30日 ULTRA コーティングの耐傷性の効果（摩擦比較検証）メラミン樹脂製スポンジ摩擦 母材：アクリル板 荷重：200gf 回数：1,000往復」との記載と共に、摩擦後の本件2商品①を塗布したアクリル板及び塗布していないアクリル板の耐傷性の効果を検証した比較画像</li> <li>・「抗ウイルス・抗菌 Antiviral/Antibacterial」</li> <li>・「ULTRA コーティングは、強固な被膜により汚れや傷から保護するだけでなく、製品上の特定のウイルスの数を減少させ、細菌の増殖を抑制する効果があります。」</li> <li>・「適正で安心できる抗菌加工製品の普及を目的とした第三者機関であるSIAA（抗菌製品技術協議会）による証明書を取得しております。」及び「SIAAマークは、<u>抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されており、当社製品も抗菌・抗ウイルス性を認められました。</u>」</li> <li>・本件2商品①を使用した方が未使用のものよりもウイルスの数が減少したかのよう に示す画像</li> <li>・「抗ウイルス」及び「特定ウイルスの数を減少」との記載と共に、SIAAマーク の画像</li> <li>・本件2商品①を使用した方が未使用のものよりも細菌が増殖していないかのよう に示す画像</li> </ul>

対象商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<p>・「抗菌」及び「細菌の増殖割合を100分の1以下に抑える」との記載と共に、S I Aマークの画像</p> <p>・「第三者機関S I A A（抗菌製品技術協議会）による証明書」との記載と共に、証明書の画像</p> <p>・「検証結果 inspection result」、「菌の増殖割合比較実験 菌の増殖を比較するために、フードスタンプ（寒天培地）を使用して、検査を行いました。フードスタンプを、衛生状態を確認したい対象物につけることで、その表面にいる微生物を採取し、細菌による汚染具合を判定することができます。一般的なスマートフォン画面ガラス表面に2つのフードスタンプを押し付け、片方のサンプルはそのままにして、片方のサンプルには抗菌機能があるULTRAコーティングのトップコートを滴下して菌の培養状況を比較しました。13日後、未処理のサンプルに大量の菌が繁殖していましたが、ULTRAコーティングを滴下したサンプルには菌の繁殖は未処理のサンプルに比べ菌の増殖は割合が低いことが認められました。以上の結果から、ULTRAコーティングのトップコートには菌の増殖を抑える効果（抗菌）があることがわかりました。」及び「実施期間：2023年5月25日19時～6月7日19時 ULTRAコーティングトップコートの抗菌効果比較実験 温度設定約25℃の室内環境下にて実施」との記載と共に、本件2商品①のトップコートを滴下したものの方が未処理のものよりも菌が増殖していないかのように示す画像</p>
本件商品①	令和6年9月6日から同年10月2	「トレテク！」と記載のある自社ウェブ	<p>・「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</p> <p>・「化学結合で強固に密着するガラス被膜で、キズから対象製品を保護」、「防キズ」</p>



対象商品	表示期間	表示媒体	表示内容
	3日までの間	ウェブサイト	<p>及び「抗ウイルス・抗菌」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お使いのスマートフォンやケース※1・フィルムなどのアクセサリにコーティング剤を塗るだけで、抗ウイルス・抗菌効果だけではなく防汚・防指紋・防キズ効果をプラスすることができきる製品です。」</li> <li>・「【防キズ】コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護できます。」</li> <li>・「【抗ウイルス・抗菌】S I A Aマーク取得」</li> <li>・「<u>ULTRA コーティングとは？</u> ULTRA コーティングは化学結合で強固に密着するガラス被膜を形成し、毎日使用するスマートフォンやケース・フィルム※1などのアクセサリをキズや擦れからしっかり保護します。 防キズ効果だけではなく、抗ウイルス・抗菌効果を発揮し、防汚・防指紋にも優れたコーティング剤です。」</li> <li>・「擦ったり、引っ掻いたりなどのキズからスマートフォン表面をしっかりと守ります。 ULTRA コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、対象製品の表面をキズや擦れからしっかり保護します。」</li> <li>・「<u>コーティングなし</u> 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> <li>・「<u>コーティングあり</u> ULTRA コーティングは端末ガラスより硬いため、傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件商品①が</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<p>塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>検証結果</u> ナノインデンテーション※試験を行い、ULTRA コーティング塗布前後の表面硬度を測定することで、耐傷性の効果を比較検証しました。表面硬度が上昇するほど、外部からの摩擦に対してより耐性があり傷つきにくいといえます。」及び「ナノインデンテーション試験による表面硬度測定結果」</li> <li>・表面コーートを施した端末ガラス及び表面コーートを施した上に本件商品①を塗布した端末ガラスを比較して、表面硬度が約9倍上昇していること並びに表面コーートを施した上に本件商品①を塗布した端末ガラス及び表面コーートなしの端末ガラスを比較して、「一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材の表面硬度より硬い」ことを示したグラフ</li> <li>・「ナノインデンテーション試験による表面硬度の測定の結果、施工前に比べ表面硬度が上昇していることを確認できました。(グラフ①②) さらに、一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材よりも硬度が高く、耐傷性に優れていることが実証されました。(グラフ③) ULTRA コーティングの耐傷性の効果 (摩擦比較検証)」</li> <li>・「メラミン樹脂製スポンジ摩擦 母材：アクリル板 荷重：200gf 回数：1,000往復」との記載と共に、摩擦後の本件商品①を塗布したアクリル板及び塗布していないアクリル板の耐傷性の効果を検証した比較画像</li> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」、「抗ウイルス・抗菌 (SIAAマーク取得)」、「抗ウイルス 抗菌効果」及び「防キズ効果」</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
本件商品 ②	令和6年9月6日 から同年10月2 3日までの間	「トレテク！」と記 載のある自社ウエ ブサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</li> <li>・「化学結合で強固に密着するガラス被膜で、キズから対象製品を保護」、「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</li> <li>・「お使いのスマートフォンやケース※1・フィルムなどのアクセサリにコーティング剤を塗るだけで、抗ウイルス・抗菌効果だけでなく防汚・防指紋・防キズ効果をプラスすることが出来る製品です。」</li> <li>・「【防キズ】コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護できます。」</li> <li>・「【抗ウイルス・抗菌】S I A Aマーク取得」</li> <li>・「<u>ULTRA コーティングとは？</u> ULTRA コーティングは化学結合で強固に密着するガラス被膜を形成し、毎日使用するスマートフォンやケース・フィルム※1などのアクセサリをキズや擦れからしっかり保護します。 防キズ効果だけではなく、抗ウイルス・抗菌効果を発揮し、防汚・防指紋にも優れたコーティング剤です。」</li> <li>・「擦ったり、引っ掻いたりなどのキズからスマートフォンをしっかりと守ります。 ULTRA コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、対象製品の表面をキズや擦れからしっかり保護します。」</li> <li>・「<u>コーティングなし</u> 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>コーティングあり</u> U L T R A コーティングは端末ガラスより硬いため、傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件商品②が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像</li> <li>・「<u>検証結果</u> ナノインデンテーション※試験を行い、U L T R A コーティング塗布前後の表面硬度を測定することで、耐傷性の効果を比較検証しました。表面硬度が上昇するほど、外部からの摩擦に対してより耐性があり傷つきにくいといえます。」及び「ナノインデンテーション試験による表面硬度測定結果」</li> <li>・表面コーートを施した端末ガラス及び表面コーートを施した上に本件商品②を塗布した端末ガラスを比較して、表面硬度が約9倍上昇していること並びに表面コーートを施した上に本件商品②を塗布した端末ガラス及び表面コーートなしの端末ガラスを比較して、「一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材の表面硬度より硬い」ことを示したグラフ</li> <li>・「ナノインデンテーション試験による表面硬度の測定の結果、施工前に比べ表面硬度が上昇していることを確認できました。(グラフ①②) さらに、一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材よりも硬度が高く、耐傷性に優れていることが実証されました。(グラフ③) U L T R A コーティングの耐傷性の効果 (摩擦比較検証)」</li> <li>・「メラミン樹脂製スポンジ摩擦 母材：アクリル板 荷重：200 g f 回数：1,000往復」との記載と共に、摩擦後の本件商品②を塗布したアクリル板及び塗布していないアクリル板の耐傷性の効果を検証した比較画像</li> </ul>

対象商品	表示期間	表示媒体	表示内容
本件2商品①	令和5年7月21日から令和6年10月23日までの間	「YouTube」と称する動画共有サービスにおける「【SELECTION】ULTRAコーティング製品紹介動画」と題する動画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>強い</u>なガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」、「抗ウイルス・抗菌（SIAマーク取得）」、「抗ウイルス 抗菌効果」及び「防キズ効果」</li> <li>・「<u>強く</u>に密着するガラス被膜でスマートフォンを傷から保護するウルトラコーティング」との音声</li> <li>・「防キズ」、「<u>コーティングなし</u> 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との文字と共に、「<u>端末ガラスが傷つくレベルの力</u>」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す映像及び「<u>コーティングあり</u> ULTRA コーティングは端末ガラスより硬いため、傷つきにくい」との文字と共に、「<u>端末ガラスが傷つくレベルの力</u>」で本件2商品①が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す映像</li> <li>・「コーティング対象を上回る硬度の被膜を作り、表面を傷や擦れからしっかり保護します」との音声</li> <li>・「<u>往復摩擦テストによる比較検証</u>」及び「1,000往復摩擦テスト ※メラミン樹脂製スポンジ摩擦試験 母材：アクリル板 荷重：200g f 回数：1000往復」との文字と共に、往復摩擦テストを行っていることを示す映像</li> <li>・「試験実施日：2023年5月30日 ULTRA コーティングの耐傷性の効果（摩擦比較検証）メラミン樹脂製スポンジ摩擦試験 母材：アクリル板 荷重：200g f 回数：1000往復」との文字と共に、摩擦後の本件2商品①を塗布したアクリル板及び塗布していないアクリル板の耐傷性の効果を検証した比較画像</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「往復摩擦テストによる比較検証では、ウルトラコーティングを施工した場合、ほとんど傷がありませんでした」との音声</li> <li>・「抗ウイルス・抗菌」、「抗ウイルス」及び「特定ウイルスの数を減少」との文字と共に、本件２商品①を使用した方が未使用のものよりもウイルスの数が減少したかのように示す映像並びに「抗菌」及び「細菌の増殖割合を１００分の１以下に抑える」との文字と共に、本件２商品①を使用した方が未使用のものよりも細菌が増殖していないかのように示す映像</li> <li>・「さらに特定のウイルスの数を減少させ、細菌の増殖を抑制する効果があります」との音声</li> <li>・「抗ウイルス・抗菌」との文字と共に、ＳＩＡＡマークの映像</li> <li>・「第三者機関であるＳＩＡＡによる証明書を取得し、」との音声</li> <li>・「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」との文字のある映像</li> </ul>

別表2

対象商品	表示期間	表示媒体	表示内容
本件商品 ③	令和6年10月25日から令和7年8月21日までの間	商品パッケージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ」</li> <li>・「■防キズ コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護できます。」</li> <li>・「コーティングなし 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> <li>・「コーティングあり 端末ガラスのみの状態より傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件商品③が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像</li> </ul>
本件商品 ④	令和6年10月25日から令和7年8月21日までの間	商品パッケージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ」</li> <li>・「■防キズ コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護できます。」</li> <li>・「コーティングなし 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> <li>・「コーティングあり 端末ガラスのみの状態より傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件商品④が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像</li> </ul>

対象商品	表示期間	表示媒体	表示内容
本件2商品②	令和6年10月28日から令和7年8月21日までの間	「INVOL Extra Fine コーティング」と記載のあるウェブサイト	<p>いことを示す画像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ」</li> <li>・「INVOL Extra Fine コーティングとは？」及び「Extra Fine コーティングは化学結合で強固に密着するガラス被膜を形成し、毎日使用するスマートフォンやケース・フィルム※<sup>1</sup>などのアクセサリをキズや擦れからしっかり保護します。」</li> <li>・「防キズ Anti scratch」、「<u>擦ったり、引っ掻いたりなどのキズからスマートフォン</u>の表面をしっかりと守ります。」及び「Extra Fine コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、対象製品の表面をキズや擦れからしっかり保護します。」</li> <li>・「<u>コーティングなし</u> 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「<u>端末ガラスが傷つくレベルの力</u>」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> <li>・「<u>コーティングあり</u> Extra Fine コーティングは端末ガラスより硬いため、傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件2商品②が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像</li> <li>・「検証結果 inspection result」及び「ナノインデントシヨン※試験を行い、Extra Fine コーティング塗布前後の表面硬度を測定することで、耐傷性の効果を比較検証しました。 表面硬度が上昇するほど、外部からの摩擦に対してより耐性があり傷つきにくいといえます。」</li> </ul>



対象商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ナノインデンテーション試験による表面硬度測定結果 ・２０１９年発売の一般的なスマートフォンにExtra Fine コーティングを施工前後の表面硬度の測定をナノインデンテーション試験で実施」</li> <li>・表面コートをした端末ガラス及び表面コートをした上に本件２商品②を塗布した端末ガラスを比較して、表面硬度が約９倍上昇していること並びに表面コートをした上に本件２商品②を塗布した端末ガラス及び表面コートなしの端末ガラスを比較して、「一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材の表面硬度より硬い」ことを示したグラフ</li> <li>・「ナノインデンテーション試験による表面硬度の測定の結果、施工前に比べ表面硬度が上昇していることを確認できました。（グラフ①②） さらに、一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材よりも硬度が高く、耐傷性に優れていることが実証されました。（グラフ③）」</li> <li>・「試験結果 Extra Fine コーティングの耐傷性の効果（摩擦比較検証）メラミン樹脂製スポンジ摩擦 母材：アクリル板 荷重：２００ｇ 回数：１，０００往復」との記載と共に、摩擦後の本件２商品②を塗布したアクリル板及び塗布していないアクリル板の耐傷性の効果を検証した比較画像</li> </ul>
本件商品 ③	令和６年１０月２ ８日から令和７年 ８月２１日までの 間	「トレテク！」と記 載のある自社ウェ ブサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」</li> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護。」</li> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ」</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
本件商品 ④	令和6年10月28日から令和7年8月21日までの間	「トレテク！」と記載のある自社ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」</li> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護。」</li> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ」</li> </ul>

# INVOL

## ULTRA コーティング

強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護



防キズ



高耐久



高密度



防オイル・防汚



防汗・防指紋



日本製



**対応製品**

- ・スマートフォン
- ・保護ガラス、保護フィルム

**製品構成**

- ・保護ガラス（ハードコート）
- ・保護フィルム（ソフトコート）

**注意**

●本製品の特性、使用法によっては、一部に損傷が生じる場合があります。使用上の注意を必ずお読みください。また、本製品は、スマートフォンにのみ適用されます。他の製品には適用されません。また、本製品は、スマートフォンにのみ適用されます。他の製品には適用されません。また、本製品は、スマートフォンにのみ適用されます。他の製品には適用されません。



### INVOL ULTRA コーティング for スマートフォン

**■防キズ**

コーティングを施すことで、コーティング対象（保護ガラス）にキズや汚れが付きにくく、長持ちします。

**■高耐久・高密度**

ガラスコーティング剤がコーティング対象の表面を覆い、ガラスの表面を保護します。



コーティング前  
コーティング後



コーティング前  
コーティング後

※イメージです。

**対応製品**

- ・スマートフォン
- ・保護ガラス、保護フィルム

**製品構成**

- ・保護ガラス（ハードコート）
- ・保護フィルム（ソフトコート）



4 573197 055086  
SB-AL02-COKV

ご来店から  
1ヵ月以内の会員登録で  
特典を受けられます。

※会員登録およびその後のサービス提供条件については、各店二次元的サイトのサイトをご覧ください。会員登録には、取扱説明書に記載のシリアル番号が必要です。

お得な  
特典を受けられます。



TEL 03-5555-1111

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

MADE IN JAPAN

## INVOL

# Extra Fine コーティング

強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護

防キズ

高耐久

高密着

防汚・防指紋

日本製

**対応製品**

スマートフォン

タブレット

スマートウォッチ

※詳細は裏面をご覧ください。

**ご注意**

本製品の効果の詳細は、裏面ならびに製品WEBサイトをご確認ください。なお、効果の持続性は、実際の使用環境により異なりますのでご注意ください。

※本製品のWEBサイトについては裏面に記載。

for スマートフォン

SoftBank SELECTION

INVOL Extra Fine コーティング  
for スマートフォン

**■防キズ**

コーティングをすることで、コーティング剤がガラス表面を覆い、傷や汚れからガラスを保護します。

コーティング剤がガラス表面を覆い、傷や汚れからガラスを保護します。

**■高耐久・高密着**

ガラスコーティング剤がガラス表面と密着し、傷や汚れからガラスを保護します。

ガラスコーティング剤がガラス表面と密着し、傷や汚れからガラスを保護します。

※効果の持続性は、実際の使用環境により異なります。本製品の効果の詳細は、裏面ならびに製品WEBサイトをご確認ください。

**対応製品** ・スマートフォン

※効果の持続性は、実際の使用環境により異なります。本製品の効果の詳細は、裏面ならびに製品WEBサイトをご確認ください。

**製品構成** ・ガラスコーティング剤（10ml）  
・ガラスコーティング剤（10ml）  
・ガラスコーティング剤（10ml）

4 573197 059462

SB-AL06-COKV

## ○ 不当景品類及び不当表示防止法（抜粋）

（昭和三十七年法律第百三十四号）

### （目的）

**第一条** この法律は、商品及び役務の取引に関連する不当な景品類及び表示による顧客の誘引を防止するため、一般消費者による自主的かつ合理的な選択を阻害するおそれのある行為の制限及び禁止について定めることにより、一般消費者の利益を保護することを目的とする。

### （不当な表示の禁止）

**第五条** 事業者は、自己の供給する商品又は役務の取引について、次の各号のいずれかに該当する表示をしてはならない。

- 一 商品又は役務の品質、規格その他の内容について、一般消費者に対し、実際のものよりも著しく優良であると示し、又は事実と相違して当該事業者と同種若しくは類似の商品若しくは役務を供給している他の事業者に係るものよりも著しく優良であると示す表示であつて、不当に顧客を誘引し、一般消費者による自主的かつ合理的な選択を阻害するおそれがあると認められるもの
- 二 商品又は役務の価格その他の取引条件について、実際のもの又は当該事業者と同種若しくは類似の商品若しくは役務を供給している他の事業者に係るものよりも取引の相手方に著しく有利であると一般消費者に誤認される表示であつて、不当に顧客を誘引し、一般消費者による自主的かつ合理的な選択を阻害するおそれがあると認められるもの
- 三 前二号に掲げるもののほか、商品又は役務の取引に関する事項について一般消費者に誤認されるおそれがある表示であつて、不当に顧客を誘引し、一般消費者による自主的かつ合理的な選択を阻害するおそれがあると認めて内閣総理大臣が指定するもの

### （措置命令）

**第七条** 内閣総理大臣は、第四条の規定による制限若しくは禁止又は第五条の規定に違反する行為があるときは、当該事業者に対し、その行為の差止め若しくはその行為が再び行われることを防止するために必要な事項又はこれらの実施に関連する公示その他必要な事項を命ずることができる。その命令は、当該違反行為が既になくなっている場合においても、次に掲げる者に対し、することができる。

- 一 当該違反行為をした事業者
  - 二 当該違反行為をした事業者が法人である場合において、当該法人が合併により消滅したときにおける合併後存続し、又は合併により設立された法人
  - 三 当該違反行為をした事業者が法人である場合において、当該法人から分割により当該違反行為に係る事業の全部又は一部を承継した法人
  - 四 当該違反行為をした事業者から当該違反行為に係る事業の全部又は一部を譲り受けた事業者
- 2 内閣総理大臣は、前項の規定による命令（以下「措置命令」という。）に関し、事業者がした表示が第五条第一号に該当するか否かを判断するため必要があると認めるときは、当該表示をした事業者に対し、期間を定めて、当該表示の裏付けとなる合理的な根拠を示す資料の提出を求めることができる。この場合において、当該事業者が当該資料を提出しないときは、同項の規定の適用については、当該表示は同号に該当する表示とみなす。
- 3 措置命令は、措置命令書の謄本を送達して行う。

### （報告の徴収及び立入検査等）

**第二十五条** 内閣総理大臣は、この法律を施行するため必要があると認めるときは、当該事業者若しくはその者とその事業に関して関係のある事業者に対し、その業務若しくは財産に関して報告をさせ、若しくは帳簿書類その他の物件の提出を命じ、又はその職員に、当該事業者若し

くはその者とその事業に関して関係のある事業者の事務所、事業所その他その事業を行う場所に立ち入り、帳簿書類その他の物件を検査させ、若しくは関係者に質問させることができる。

2・3 (略)

**(権限の委任等)**

**第三十八条** 内閣総理大臣は、この法律による権限（政令で定めるものを除く。）を消費者庁長官に委任する。

2 消費者庁長官は、政令で定めるところにより、前項の規定により委任された権限の一部を公正取引委員会に委任することができる。

3 (略)

4 公正取引委員会、事業者の事業を所管する大臣又は金融庁長官は、前二項の規定により委任された権限を行使したときは、政令で定めるところにより、その結果について消費者庁長官に報告するものとする。

5～11 (略)

## ○ 不当景品類及び不当表示防止法施行令（抜粋）

（平成二十一年政令第二百十八号）

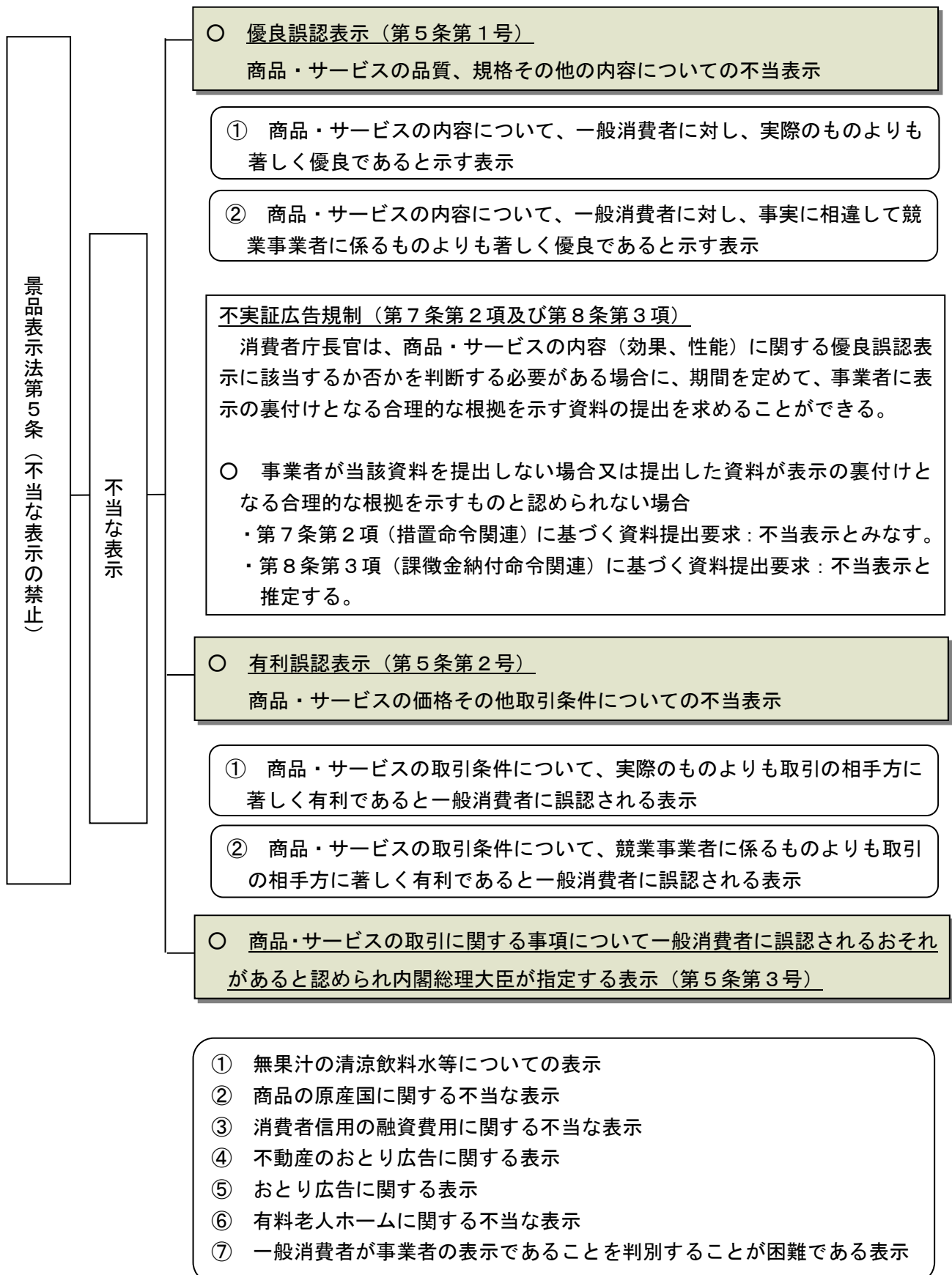
**(消費者庁長官に委任されない権限)**

**第十四条** 法第三十八条第一項の政令で定める権限は、法第二条第三項及び第四項、第三条第一項（消費者委員会からの意見の聴取に係る部分に限る。）及び第二項、第四条、第五条第三号、第六条第一項（消費者委員会からの意見の聴取に係る部分に限る。）及び第二項、第二十二條第二項並びに同条第三項及び第四項（これらの規定を同条第五項において準用する場合を含む。）の規定による権限とする。

**(公正取引委員会への権限の委任)**

**第十五条** 法第三十八条第一項の規定により消費者庁長官に委任された権限のうち、法第二十五条第一項の規定による権限は、公正取引委員会に委任する。ただし、消費者庁長官が自らその権限を行使することを妨げない。

## 景品表示法による表示規制の概要



※別添写しについては、添付を省略しています。

消表対第1810号  
令和7年12月18日

S B C & S株式会社  
代表取締役 草川 和哉 殿

消費者庁長官 堀井 奈津子  
(公印省略)

不当景品類及び不当表示防止法第7条第1項の規定に基づく措置命令

貴社は、貴社が供給する「INVOL ULTRA コーティング f o r スマートフォン」と称するスマートフォン向けのコーティング剤（以下「本件商品①」という。）及び「INVOL ULTRA コーティング f o r タブレット」と称するタブレット端末向けのコーティング剤（以下「本件商品②」といい、本件商品①と併せて「本件2商品①」という。）並びに「INVOL Extra Fine コーティング f o r スマートフォン」と称するスマートフォン向けのコーティング剤（以下「本件商品③」という。）及び「INVOL Extra Fine コーティング f o r タブレット」と称するタブレット端末向けのコーティング剤（以下「本件商品④」といい、本件商品③と併せて「本件2商品②」という。）の各商品（以下これらを併せて「本件4商品」という。）の取引について、それぞれ、不当景品類及び不当表示防止法（昭和37年法律第134号。以下「景品表示法」という。）第5条の規定により禁止されている同条第1号に該当する不当な表示を行っていたので、景品表示法第7条第1項の規定に基づき、次のとおり命令する。

1 命令の内容

- (1) 貴社は、貴社が一般消費者に販売する本件4商品に係る表示に関して、次に掲げる事項を速やかに一般消費者に周知徹底しなければならない。この周知徹底の方法については、あらかじめ、消費者庁長官の承認を受けなければならない。

ア 貴社は、本件2商品①を一般消費者に販売するに当たり、例えば、本件商品①について、令和6年9月20日から同年10月23日までの間、本件商品①の商品パッケージにおいて、「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」、「抗ウイルス・抗菌」等と表示するなど、別表1「対象商品」欄記載の商品について、同表「表示期間」欄記載の期間に、同表「表示媒体」欄記載の表示媒体において、同表「表示内容」欄記載のとおり表示することにより、あたかも、本件2商品①をスマートフォン又はタブレット端末の画面等に塗布することで、傷の発生を防止する効果、細菌の増殖を抑制する効果及び特定のウイルスの数を減少させる効果が得られるかの



ように示す表示をしていたこと。

イ 貴社は、本件 2 商品②を一般消費者に販売するに当たり、例えば、本件商品③について、令和 6 年 1 0 月 2 5 日から令和 7 年 8 月 2 1 日までの間、本件商品③の商品パッケージにおいて、「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」等と表示するなど、別表 2「対象商品」欄記載の商品について、同表「表示期間」欄記載の期間に、同表「表示媒体」欄記載の表示媒体において、同表「表示内容」欄記載のとおり表示することにより、あたかも、本件 2 商品②をスマートフォン又はタブレット端末の画面等に塗布することで、傷の発生を防止する効果が得られるかのよう示す表示をしていたこと。

ウ 前記ア及びイの表示は、それぞれ、本件 4 商品の内容について、一般消費者に対し、実際のものよりも著しく優良であると示すものであり、景品表示法に違反するものであること。

(2) 貴社は、今後、本件 4 商品又はこれらと同種の商品の取引に関し、表示の裏付けとなる合理的な根拠をあらかじめ有することなく、前記(1)ア及びイの表示と同様の表示が行われることを防止するために必要な措置を講じ、これを貴社の役員及び従業員に周知徹底しなければならない。

(3) 貴社は、今後、本件 4 商品又はこれらと同種の商品の取引に関し、表示の裏付けとなる合理的な根拠をあらかじめ有することなく、前記(1)ア及びイの表示と同様の表示をしてはならない。

(4) 貴社は、前記(1)に基づいて行った周知徹底及び前記(2)に基づいてとった措置について、速やかに文書をもって消費者庁長官に報告しなければならない。

## 2 事実

(1) S B C & S 株式会社（以下「S B C & S」という。）は、東京都港区海岸一丁目 7 番 1 号に本店を置き、携帯電話端末、タブレット端末等に関連する用品等の開発、設計、製造販売等の事業を行う事業者である。

(2) S B C & S は、本件 4 商品を自ら又は小売業者を通じて、一般消費者に販売している。

(3) S B C & S は、本件 4 商品に係る別表 1 及び別表 2「表示媒体」欄記載の表示媒体の表示内容を自ら決定している。

(4)ア S B C & S は、本件 2 商品①を一般消費者に販売するに当たり、例えば、本件商品①について、令和 6 年 9 月 2 0 日から同年 1 0 月 2 3 日までの間、本件商品①の商品パッケージにおいて、「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」、「抗ウイルス・抗菌」等と表示するなど、別表 1「対象商品」欄記載の商品について、同表「表示期間」欄記載の期間に、同表「表示媒体」欄記載の表示媒体において、同表「表示内容」欄記載のとおり表示することにより、あたかも、本件 2 商品①をスマー

トフォン又はタブレット端末の画面等に塗布することで、傷の発生を防止する効果、細菌の増殖を抑制する効果及び特定のウイルスの数を減少させる効果が得られるかのように示す表示をしていた。

イ S B C & S は、本件 2 商品②を一般消費者に販売するに当たり、例えば、本件商品③について、令和 6 年 1 0 月 2 5 日から令和 7 年 8 月 2 1 日までの間、本件商品③の商品パッケージにおいて、「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」等と表示するなど、別表 2「対象商品」欄記載の商品について、同表「表示期間」欄記載の期間に、同表「表示媒体」欄記載の表示媒体において、同表「表示内容」欄記載のとおり表示することにより、あたかも、本件 2 商品②をスマートフォン又はタブレット端末の画面等に塗布することで、傷の発生を防止する効果が得られるかのように示す表示をしていた。

ウ 消費者庁長官は、前記ア及びイの表示について、それぞれ、景品表示法第 5 条第 1 号に該当する表示か否かを判断するため、景品表示法第 7 条第 2 項の規定に基づき、S B C & S に対し、期間を定めて、当該表示の裏付けとなる合理的な根拠を示す資料の提出を求めたところ、S B C & S は、当該期間内に表示に係る裏付けとする資料を提出したが、当該資料はいずれも、当該表示の裏付けとなる合理的な根拠を示すものであるとは認められないものであった。

### 3 法令の適用

前記事実によれば、S B C & S が自己の供給する本件 4 商品の取引に関し行っていた表示は、それぞれ、景品表示法第 7 条第 2 項の規定により、景品表示法第 5 条第 1 号に規定する、本件 4 商品の内容について、一般消費者に対し、実際のものよりも著しく優良であると示すことにより、不当に顧客を誘引し、一般消費者による自主的かつ合理的な選択を阻害するおそれがあると認められる表示とみなされるものであって、かかる表示をしていた行為は、それぞれ、同条の規定に違反するものである。

### 4 法律に基づく教示

#### (1) 行政不服審査法（平成 2 6 年法律第 6 8 号）第 8 2 条第 1 項の規定に基づく教示

この処分について不服がある場合には、行政不服審査法第 2 条、第 4 条及び第 1 8 条第 1 項の規定に基づき、正当な理由があるときを除き、この処分があったことを知った日の翌日から起算して 3 か月以内に、書面により消費者庁長官に対し審査請求をすることができ。

(注) 行政不服審査法第 1 8 条第 2 項の規定により、正当な理由があるときを除き、処分があったことを知った日の翌日から起算して 3 か月以内であっても、処分の日の翌日から起算して 1 年を経過したときは、審査請求をすることができなくなる。

- (2) 行政事件訴訟法（昭和37年法律第139号）第46条第1項の規定に基づく教示訴訟により、この処分取消しを求める場合には、行政事件訴訟法第11条第1項及び第14条第1項の規定に基づき、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、国（代表者法務大臣）を被告として、この処分取消しの訴えを提起することができる。

（注1） 行政事件訴訟法第14条第2項の規定により、正当な理由があるときを除き、この処分があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、この処分の日から起算して1年を経過すると、この処分取消しの訴えを提起することができなくなる。

（注2） 行政事件訴訟法第14条第3項の規定により、正当な理由があるときを除き、審査請求をして裁決があった場合には、この処分取消しの訴えは、その裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に提起することができる。ただし、正当な理由があるときを除き、その裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、その裁決の日から起算して1年を経過すると、この処分取消しの訴えを提起することができなくなる。

別表 1

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
本件商品 ①	令和 6 年 9 月 2 0 日から同年 1 0 月 2 3 日までの間	商品パッケージ	<p>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</p> <p>・ S I A A マークを示す画像</p> <p>・「<b>■</b>防キズ コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護できます。」</p> <p>・「コーティングなし 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</p> <p>・「コーティングあり 端末ガラスのみの状態より傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件商品①が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像</p> <p>・「<b>■</b>抗ウイルス・抗菌 抗ウイルス加工：製品上の特定のウイルスの数を減少（抗ウイルス活性値 2 以上） 抗菌加工：加工されていない製品の表面と比較し、細菌の増殖割合が 1 0 0 分の 1 以下（抗菌活性値 2 以上）」</p> <p>(別添写し 1)</p>
本件商品 ②	令和 6 年 9 月 2 0 日から同年 1 0 月 2 3 日までの間	商品パッケージ	<p>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</p> <p>・ S I A A マークを示す画像</p> <p>・「<b>■</b>防キズ コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を</p>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<p>上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護できます。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コーティングなし 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」を端末ガラスに加えた際には端末ガラスが傷つくことを示す画像</li> <li>・「コーティングあり 端末ガラスのみの状態より傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」を本件商品②が塗布されている端末ガラスに加えた際には端末ガラスの表面が傷つきにくいことを示す画像</li> <li>・「■抗ウイルス・抗菌 抗ウイルス加工：製品上の特定のウイルスの数を減少（抗ウイルス活性値2以上） 抗菌加工：加工されていない製品の表面と比較し、細菌の増殖割合が100分の1以下（抗菌活性値2以上）」</li> </ul> <p>(別添写し2)</p>
本件2商品①	令和6年8月13日から同年10月23日までの間	「INVOL ULTRA コーティング」と記載のある自社ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「化学結合で強固に密着するガラス被膜で、キズから対象製品を保護」、「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</li> <li>・「INVOL ULTRA コーティングとは?」、「ULTRA コーティングは化学結合で強固に密着するガラス被膜を形成し、毎日使用するスマートフォンやケース・フィルム※<sup>1</sup>などのアクセサリをキズや擦れからしっかり保護します。」及び「防キズ効果だけではなく、抗ウイルス・抗菌効果を発揮し、防汚・防指紋にも優れたコーティング剤です。」</li> <li>・「防キズ Anti scratch」、「擦ったり、引っ掻いたりなどのキズからスマートフォン表面をしっかりと守ります。」及び「ULTRA コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<p>を形成し、対象製品の表面をキズや擦れからしっかりと保護します。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コーティングなし 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> <li>・「<u>コーティングあり</u> ULTRA コーティングは端末ガラスより硬いため、傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件２商品①が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像</li> <li>・「検証結果 inspection result」及び「ナノインデンテーション※試験を行い、ULTRA コーティング塗布前後の表面硬度を測定すること</li> </ul> <p>で、耐傷性の効果を比較検証しました。 表面硬度が上昇するほど、外部からの摩擦に対してより耐性があり傷つきにくいといえます。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ナノインデンテーション試験による表面硬度測定結果 ・２０１９年発売の一般的なスマートフォンにULTRA コーティングを施工前後の表面硬度の測定をナノインデンテーション試験で実施 ・２０２２年８月実施」</li> <li>・表面コートをした端末ガラス及び表面コートを施した上に本件２商品①を塗布した端末ガラスを比較して、表面硬度が約９倍上昇していること並びに表面コートを施した上に本件２商品①を塗布した端末ガラス及び表面コートなしの端末ガラスを比較して、「一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材の表面硬度より硬い」ことを示したグラフ</li> <li>・「ナノインデンテーション試験による表面硬度の測定の結果、施工前に比べ表面</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<p>硬度が上昇していることを確認できました。(グラフ①②) さらに、一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材よりも硬度が高く、耐傷性に優れていることが実証されました。(グラフ③)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「試験実施日：2023年5月30日 ULTRA コーティングの耐傷性の効果 (摩擦比較検証) メラミン樹脂製スポンジ摩擦 母材：アクリル板 荷重：200gf 回数：1,000往復」との記載と共に、摩擦後の本件2商品①を塗布したアクリル板及び塗布していないアクリル板の耐傷性の効果を検証した比較画像</li> <li>・「抗ウイルス・抗菌 Antiviral/Antibacterial」</li> <li>・「ULTRA コーティングは、強固な被膜により汚れや傷から保護するだけでなく、製品上の特定のウイルスの数を減少させ、細菌の増殖を抑制する効果があります。」</li> <li>・「適正で安心できる抗菌加工製品の普及を目的とした第三者機関であるSIAA (抗菌製品技術協議会) による証明書を取得しております。」及び「<u>SIAAマークは、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されており、当社製品も抗菌・抗ウイルス性を認められました。</u>」</li> <li>・本件2商品①を使用した方が未使用のものよりもウイルスの数が減少したかのよう<span style="display: block; text-align: center;">に示す画像</span></li> <li>・「抗ウイルス」及び「特定ウイルスの数を減少」との記載と共に、SIAAマークの画像</li> <li>・本件2商品①を使用した方が未使用のものよりも細菌が増殖していないかのよう</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<p>に示す画像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「抗菌」及び「細菌の増殖割合を100分の1以下に抑える」との記載と共に、S I A Aマークの画像</li> <li>・「第三者機関S I A A（抗菌製品技術協議会）による証明書」との記載と共に、証明書の画像</li> <li>・「検証結果 i n s p e c t i o n r e s u l t」、「菌の増殖割合比較実験 菌の増殖を比較するために、フードスタンプ（寒天培地）を使用して、検査を行いました。フードスタンプを、衛生状態を確認したい対象物につけることで、その表面にいる微生物を採取し、細菌による汚染具合を判定することができます。一般的なスマートフォンの画面ガラス表面に2つのフードスタンプを押し付け、片方のサンプルはそのままにして、片方のサンプルには抗菌機能があるU L T R A コーティングのトップコートを滴下して菌の培養状況と比較しました。13日後、未処理のサンプルに大量の菌が繁殖していましたが、U L T R A コーティングを滴下したサンプルには菌の繁殖は未処理のサンプルに比べ菌の増殖は割合が低いことが認められました。以上の結果から、U L T R A コーティングのトップコートには菌の増殖を抑える効果（抗菌）があることがわかりました。」及び「実施期間：2023年5月25日19時～6月7日19時 U L T R A コーティングトップコートの抗菌効果比較実験 温度設定約25℃の室内環境下にて実施」との記載と共に、本件2商品①のトップコートを滴下したものの方が未処理のものよりも菌が増殖していないかのように示す画像</li> </ul> <p style="text-align: right;">（別添写し3）</p>



対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
本件商品 ①	令和6年9月6日 から同年10月2 3日までの間	「トレテック！」と記 載のある自社ウェ ブサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</li> <li>・「化学結合で強固に密着するガラス被膜で、キズから対象製品を保護」、「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</li> <li>・「お使いのスマートフォンやケース※1・フィルムなどのアクセサリにコーティング剤を塗るだけで、抗ウイルス・抗菌効果だけではなく防汚・防指紋・防キズ効果をプラスすることが出来る製品です。」</li> <li>・「【防キズ】コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護できます。」</li> <li>・「【抗ウイルス・抗菌】S I A Aマーク取得」</li> <li>・「<u>ULTRA コーティングとは？</u> ULTRA コーティングは化学結合で強固に密着するガラス被膜を形成し、毎日使用するスマートフォンやケース・フィルム※1などのアクセサリをキズや擦れからしっかり保護します。 防キズ効果だけではなく、抗ウイルス・抗菌効果を発揮し、防汚・防指紋にも優れたコーティング剤です。」</li> <li>・「擦ったり、引っ掻いたりなどのキズからスマートフォン表面をしっかりと守ります。 ULTRA コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、対象製品の表面をキズや擦れからしっかり保護します。」</li> <li>・「<u>コーティングなし</u> 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>コーティングあり</u> ULTRA コーティングは端末ガラスより硬いため、傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件商品①が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像</li> <li>・「<u>検証結果</u> ナノインデンテーション※試験を行い、ULTRA コーティング塗布前後の表面硬度を測定することで、耐傷性の効果を比較検証しました。表面硬度が上昇するほど、外部からの摩擦に対してより耐性があり傷つきにくいといえます。」及び「ナノインデンテーション試験による表面硬度測定結果」</li> <li>・表面コートをした端末ガラス及び表面コートを施した上に本件商品①を塗布した端末ガラスを比較して、表面硬度が約9倍上昇していること並びに表面コートを施した上に本件商品①を塗布した端末ガラス及び表面コートなしの端末ガラスを比較して、「一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材の表面硬度より硬い」ことを示したグラフ</li> <li>・「ナノインデンテーション試験による表面硬度の測定の結果、施工前に比べ表面硬度が上昇していることを確認できました。(グラフ①②) さらに、一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材よりも硬度が高く、耐傷性に優れていることが実証されました。(グラフ③) ULTRA コーティングの耐傷性の効果 (摩擦比較検証)」</li> <li>・「メラミン樹脂製スポンジ摩擦 母材：アクリル板 荷重：200gf 回数：1,000往復」との記載と共に、摩擦後の本件商品①を塗布したアクリル板及び塗布していないアクリル板の耐傷性の効果を検証した比較画像</li> </ul>

対象商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<b>強い</b>なガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」、「抗ウイルス・抗菌（S I A Aマーク取得）」、「抗ウイルス 抗菌効果」及び「防キズ効果」（別添写し4）</li> </ul>
本件商品 ②	令和6年9月6日から同年10月23日までの間	「トレテク！」と記載のある自社ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</li> <li>・「化学結合で強固に密着するガラス被膜で、キズから対象製品を保護」、「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」</li> <li>・「お使いのスマートフォンやケース※1・フィルムなどのアクセサリにコーティング剤を塗るだけで、抗ウイルス・抗菌効果だけでなく防汚・防指紋・防キズ効果をプラスすることが出来る製品です。」</li> <li>・「<b>【防キズ】</b>コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護できます。」</li> <li>・「<b>【抗ウイルス・抗菌】</b>S I A Aマーク取得」</li> <li>・「<u>ULTRA コーティングとは？</u> ULTRA コーティングは化学結合で強固に密着するガラス被膜を形成し、毎日使用するスマートフォンやケース・フィルム※1などのアクセサリをキズや擦れからしっかり保護します。 防キズ効果だけではなく、抗ウイルス・抗菌効果を発揮し、防汚・防指紋にも優れたコーティング剤です。」</li> <li>・「擦ったり、引っ掻いたりなどのキズからスマートフォンをしっかりと守ります。 ULTRA コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、対象製品の表面をキズや擦れからしっかり保護します。」</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コーティングなし 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> <li>・「コーティングあり U L T R A コーティングは端末ガラスより硬いため、傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件商品②が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像</li> <li>・「検証結果 ナノインデンテーション※試験を行い、U L T R A コーティング塗布前後の表面硬度を測定することで、耐傷性の効果を比較検証しました。表面硬度が上昇するほど、外部からの摩擦に対してより耐性があり傷つきにくいといえます。」及び「ナノインデンテーション試験による表面硬度測定結果」</li> <li>・表面コーートを施した端末ガラス及び表面コーートを施した上に本件商品②を塗布した端末ガラスを比較して、表面硬度が約9倍上昇していること並びに表面コーートを施した上に本件商品②を塗布した端末ガラス及び表面コーートなしの端末ガラスを比較して、「一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材の表面硬度より硬い」ことを示したグラフ</li> <li>・「ナノインデンテーション試験による表面硬度の測定の結果、施工前に比べ表面硬度が上昇していることを確認できました。(グラフ①②) さらに、一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材よりも硬度が高く、耐傷性に優れていることが実証されました。(グラフ③) U L T R A コーティングの耐傷性の効果 (摩擦比較検証)」</li> </ul>

対象商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「メラミン樹脂製スポンジ摩擦 母材：アクリル板 荷重：200gf 回数：1,000往復」との記載と共に、摩擦後の本件商品②を塗布したアクリル板及び塗布していないアクリル板の耐傷性の効果を検証した比較画像</li> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」、「防キズ」、「抗ウイルス・抗菌（SIAAマーク取得）」、「抗ウイルス 抗菌効果」及び「防キズ効果」（別添写し5）</li> </ul>
本件2商品①	令和5年7月21日から令和6年10月23日までの間	「YouTube」と称する動画共有サービスにおける「【SELECTION】ULTRAコーティング製品紹介動画」と題する動画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強固に密着するガラス被膜でスマートフォンを傷から保護するウルトラコーティング」との音声</li> <li>・「防キズ」、「<u>コーティングなし</u> 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との文字と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す映像及び「<u>コーティングあり</u> ULTRA コーティングは端末ガラスより硬いため、傷つきにくい」との文字と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件2商品①が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す映像</li> <li>・「コーティング対象を上回る硬度の被膜を作り、表面を傷や擦れからしっかり保護します」との音声</li> <li>・「往復摩擦テストによる比較検証」及び「1,000往復摩擦テスト ※メラミン樹脂製スポンジ摩擦試験 母材：アクリル板 荷重：200gf 回数：1000往復」との文字と共に、往復摩擦テストを行っていることを示す映像</li> <li>・「試験実施日：2023年5月30日 ULTRA コーティングの耐傷性の効</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<p>果（摩擦比較検証） メラミン樹脂製スポンジ摩擦試験 母材：アクリル板 荷重：200gf 回数：1000往復」との文字と共に、摩擦後の本件2商品①を塗布したアクリル板及び塗布していないアクリル板の耐傷性の効果を検証した比較画像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「往復摩擦テストによる比較検証では、ウルトラコーティングを施工した場合、ほとんど傷がありませんでした」との音声</li> <li>・「抗ウイルス・抗菌」、「抗ウイルス」及び「特定ウイルスの数を減少」との文字と共に、本件2商品①を使用した方が未使用のものよりもウイルスの数が減少したかのように示す映像並びに「抗菌」及び「細菌の増殖割合を100分の1以下に抑える」との文字と共に、本件2商品①を使用した方が未使用のものよりも細菌が増殖していないかのように示す映像</li> <li>・「さらに特定のウイルスの数を減少させ、細菌の増殖を抑制する効果があります」との音声</li> <li>・「抗ウイルス・抗菌」との文字と共に、S I A Aマークの映像</li> <li>・「第三者機関であるS I A Aによる証明書を取得し、」との音声</li> <li>・「防キズ」及び「抗ウイルス・抗菌」との文字のある映像</li> </ul> <p>(別添写し6)</p>

別表 2

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
本件商品 ③	令和 6 年 1 0 月 2 5 日から令和 7 年 8 月 2 1 日までの 間	商品パッケージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ」</li> <li>・「■防キズ コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護できます。」</li> <li>・「コーティングなし 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> <li>・「コーティングあり 端末ガラスのみの状態より傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件商品③が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像 (別添写し 7)</li> </ul>
本件商品 ④	令和 6 年 1 0 月 2 5 日から令和 7 年 8 月 2 1 日までの 間	商品パッケージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ」</li> <li>・「■防キズ コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから保護できます。」</li> <li>・「コーティングなし 端末ガラスより硬い層がないため傷つく」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> <li>・「コーティングあり 端末ガラスのみの状態より傷つきにくい」との記載と共に、「端末ガラスが傷つくレベルの力」で本件商品④が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像 (別添写し 7)</li> </ul>

対象商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<p>いことを示す画像</p> <p>(別添写し8)</p>
本件2商品②	令和6年10月28日から令和7年8月21日までの間	「INVOL Extra Fine コーティング」と記載のあるウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護</u>」及び「<u>防キズ</u>」</li> <li>・「INVOL Extra Fine コーティングとは？」及び「Extra Fine コーティングは化学結合で強固に密着するガラス被膜を形成し、毎日使用するスマートフォンやケース・フィルム<sup>※1</sup>などのアクセサリをキズや擦れからしっかり保護します。」</li> <li>・「<u>防キズ Anti scratch</u>」、「<u>擦ったり、引っ掻いたりなどのキズからスマートフォン</u>の表面をしっかりと守ります。」及び「Extra Fine コーティングを施すことで、コーティング対象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、対象製品の表面をキズや擦れからしっかり保護します。」</li> <li>・「<u>コーティングなし 端末ガラスより硬い層がないため傷つく</u>」との記載と共に、「<u>端末ガラスが傷つくレベルの力</u>」で端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムが傷つくことを示す画像</li> <li>・「<u>コーティングあり Extra Fine コーティング</u>は端末ガラスより硬いため、傷つきにくい」との記載と共に、「<u>端末ガラスが傷つくレベルの力</u>」で本件2商品②が塗布されている端末ガラス又はフィルムに摩擦を加えた際には端末ガラス又はフィルムの表面が傷つきにくいことを示す画像</li> <li>・「<u>検証結果 inspection result</u>」及び「<u>ナノインデンテーション</u>」<sup>※2</sup>試験を行い、Extra Fine コーティング塗布前後の表面硬度を測定することで、耐傷性の効果を比較検証しました。 表面硬度が上昇するほど、</li> </ul>



対象商品	表示期間	表示媒体	表示内容
			<p>外部からの摩擦に対してより耐性があり傷つきにくいといえます。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ナノインデンテーション試験による表面硬度測定結果 ・2019年発売の一般的なスマートフォンにExtra Fine コーティングを施工前後の表面硬度の測定をナノインデンテーション試験で実施」</li> <li>・表面コートをした端末ガラス及び表面コートを施した上に本件2商品②を塗布した端末ガラスを比較して、表面硬度が約9倍上昇していること並びに表面コートを施した上に本件2商品②を塗布した端末ガラス及び表面コートなしの端末ガラスを比較して、「一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材の表面硬度より硬い」ことを示したグラフ</li> <li>・「ナノインデンテーション試験による表面硬度の測定の結果、施工前に比べ表面硬度が上昇していることを確認できました。(グラフ①②) さらに、一般的なスマートフォンに採用されている画面ガラス素材よりも硬度が高く、耐傷性に優れていることが実証されました。(グラフ③)」</li> <li>・「試験結果 Extra Fine コーティングの耐傷性の効果 (摩擦比較検証) メラミン樹脂製スポンジ摩擦 母材：アクリル板 荷重：200gf 回数：1,000往復」との記載と共に、摩擦後の本件2商品②を塗布したアクリル板及び塗布していないアクリル板の耐傷性の効果を検証した比較画像 (別添写し9)</li> </ul>
本件商品③	令和6年10月28日から令和7年8月21日までの	「トレテック！」と記載のある自社ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」</li> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ コーティング対象 (端末ガラスなど) を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから</li> </ul>

対象 商品	表示期間	表示媒体	表示内容
	間		<p>保護。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ」</li> </ul> <p>(別添写し１０)</p>
本件商品 ④	令和６年１０月２ ８日から令和７年 ８月２１日までの 間	「トレテク！」と記 載のある自社ウエ ブサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」</li> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ コーティング対 象（端末ガラスなど）を上回る表面硬度の被膜を形成し、表面をキズや擦れから 保護。」</li> <li>・「強固なガラス被膜でキズから対象製品を保護」及び「防キズ」</li> </ul> <p>(別添写し１１)</p>